

社会福祉法人宝塚市社会福祉協議会
令和3年度9月定例評議員会議事要旨

- 1 開催日時 令和3年9月29日(水) 13時30分～15時25分
- 2 開催場所 兵庫県宝塚市安倉西2-1-1
宝塚市総合福祉センター 大ホール
- 3 出席者
評議員総数 35名 評議員出席者 30名
7名の評議員はテレビ会議室システム(利用サービス名:ZOOM)を利用して参加
理事出席者 5名 監事出席者 なし

4 議事及び報告事項

(1) 議事

①議案第5号「令和3年度 資金収支予算及び事業計画の補正について」事務局より説明

つながりの場づくり緊急支援事業(生理用品配布)委託に伴う補正予算
長引くコロナ禍によって、子どもの貧困問題がより一層重要な課題となる中、子どもの社会的孤立や孤独を改善するための対策の一環として実施される事業

主な意見

(※●評議員、○事務局、△理事)

- 事業を実施するにあたり派遣職員を雇用しておこなうということであったが、その業務内容を具体的に教えて欲しい。また、どのように貧困層を把握するのか。
- 派遣職員は用品の手配や各所への配布を行う。また、配布先の児童館や子ども食堂、拠点(大型児童センター)の職員との連携など、子どもたちの情報収集や共有、専門機関へのコーディネート役割も担う。
- △地域食堂の取組みをしているが、今年の5月頃から参集が難しくなり、地域でフードドライブや寄付頂いた食糧や物品の配布事業を月1回行っている。家庭事情は分からないが、毎回来てくれる人もいる。その中で会話や観察をしながらつながる。「貧困家庭に渡す」という打ち出しではなく、地域の人達も協力しながら、もう少し緩やかな形で必要な人に届けばいいと思う。
- 地域食堂には、子どもたちが自由に参加している。我々は会話や子どもの様子、保護者の子どもへの接し方も見ている。子どもだけでなく家庭支援に発展する場合もある。
- 事業実施にあたり、いつでももらいに行ける環境づくりも必要ではないか。児童館の開館時間だけに限らず、必要な人が手に入る雰囲気づくりが必要に感じる。

他に質疑等がなかったため、出席評議員に賛否を諮ったところ、全評議員の承認を得て原案の通り議決した。

(2) 報告事項①「新型コロナウイルスの対応について」事務局より説明

職員の新型コロナワクチンの接種状況と介護現場での感染防止対応

主な意見

- 地区担当支援と本部運営関連職員の接種率について確認したい。
- 若年層の職員が多いことと、ケア職員以外は各居住自治体の一般枠で接種を行っている。介護ケア関連の職員はクリニックの協力や自治体の優先枠で接種しているため、差が生じている。

その後、評議員から質問はなく、次の議題に移った。

報告事項②「第7次地域福祉推進計画の策定について」 事務局より説明
第1回から第3回までの策定委員会の概要など

主な意見

- 策定委員の選定基準を教えてください。事務局主導で選定した場合、議論も事務局主導にならないかと懸念するがどうか。また、策定委員会の回数も少ないように思われる。理事・評議員だけでなく広く市民に意見を伺ってはどうか。
- 6次計画の策定委員は理事が中心だったが、7次計画の策定委員は、現行計画の評価から、特に意見をもらいたい分野として、障害当事者やその家族、子どもに関わる方、企業の方など外部委員として広い視野で招聘した。まちづくり計画、市地域福祉計画、行政の各種調査結果や各所のヒアリングなども活用して計画策定を行っていく。
- △社協から策定委員推薦依頼があり、組織として委員の推薦を行った。評議員の懸念には及ばないと捉えている。
- 委員として参画している。子どものことが大切と言いつつ、委員に高校生や大学生はいない。当事者世代の参画については委員会で言及もした。今までの計画でも取り組みや情報が本当に必要な人に届いているのかということも意見し、それも一緒に検討してもらっている。
- 自身も委員である。委員会では今までの会議では得られない意見も得られた。行政の各種計画もそうだが、計画を市民が読んで理解できるか疑問視をしていたので、今度は誰もが読みやすいものを作っていきたい。委員は地域に寄り添った活動を実践しているので、理解をいただきたい。
- 「5年先を見据え、孤立、災害、コロナ禍を含めた将来的な対応」とあるが、今回は新型コロナの影響で各種課題が出た。企業では災害時の事業継続計画が作られるが、ここではそのことと、地域福祉の推進ということも意味するのか。
- その通りである。コロナの影響は今後も続くと思われ、集い方などは変えていかないといけない。また、コロナ禍でますます当事者の意見は出にくくなっている。それを引き上げていく方策は事務局だけでは無理で、市民の意見を拾い上げたり、課題も日々で変わるので一緒に考えていきたい。
- 自分もまちづくり計画を担当しているが、地域でも今後を考えてまちづくり計画や交流について考えていきたい。
- まちづくり協議会の代表をしている。地域で社会参加、場所づくりから取り組むことが一番の課題である。

報告事項③「宝塚市社会福祉大会について」事務局より説明、特に意見なし。

報告事項④「社協会員募集の状況について」事務局より説明、特に意見なし。

報告事項は終了

最後に議長は意見交換会を実施し、評議員からはコロナ禍の予防、阪神地区精神保健福祉研修会の案内、議事録のHP公開など会議の情報開示や透明性についての意見があった。その後、事務局より赤い羽根共同募金の案内などを行い、本日のテレビ会議システムを用いた評議員会は終始異常なく、議長は議事が全て終了した旨を告げ、午後3時25分に閉会した。